

西多摩保健所感染症週報

2026年 第29週 7月13日～7月19日

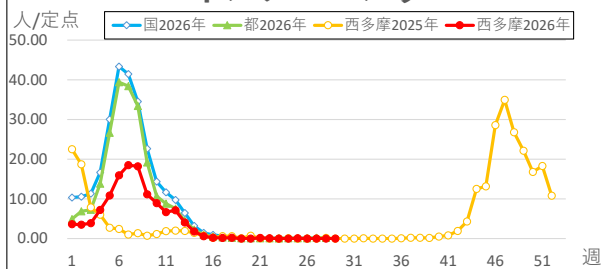
東京都西多摩保健所
Tel 0428-22-6141



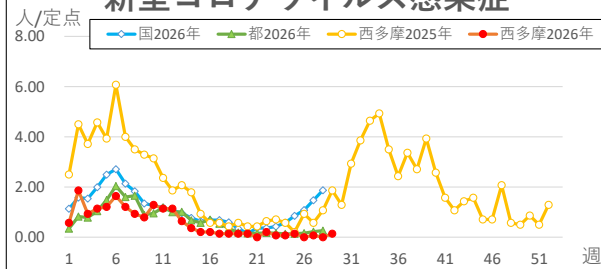
管内の発生動向及び定点把握対象疾患 () は内訳又は前週値

- 全数届出の疾患はありませんでした。
- 定点報告では、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎1.25 (0.38)、感染性胃腸炎2.25 (2.00)、新型コロナウイルス感染症0.14 (0.00)、伝染性紅斑0.13 (0.00)が増加しています。
- ***管内の感染症集団発生状況*** () は内訳
- 手足口病2件(保育施設)の報告がありました。手足口病は今週も保育施設を中心に流行しており、石鹸と流水でこまめな手洗いが予防に効果的です。

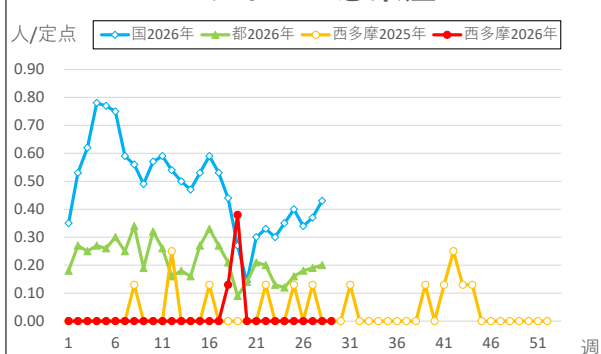
インフルエンザ



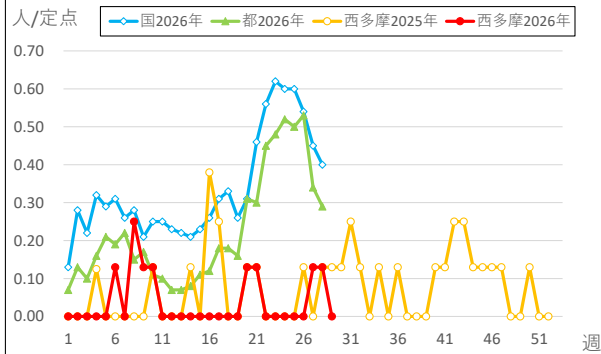
新型コロナウイルス感染症



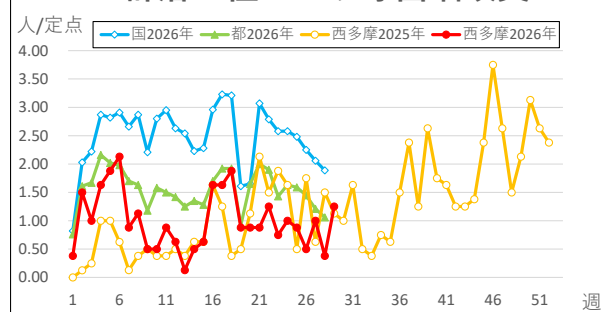
RSウイルス感染症



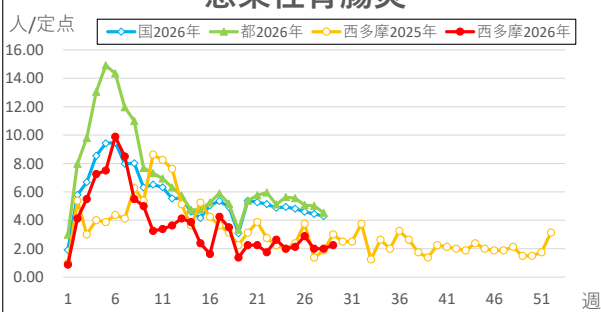
咽頭結膜熱



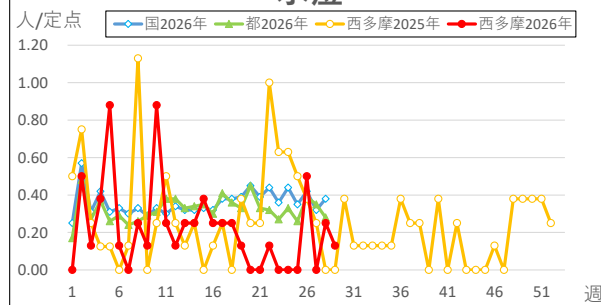
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



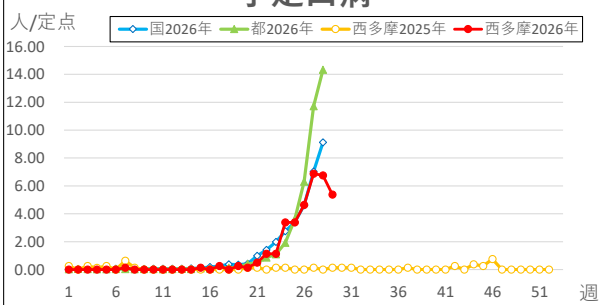
感染性胃腸炎



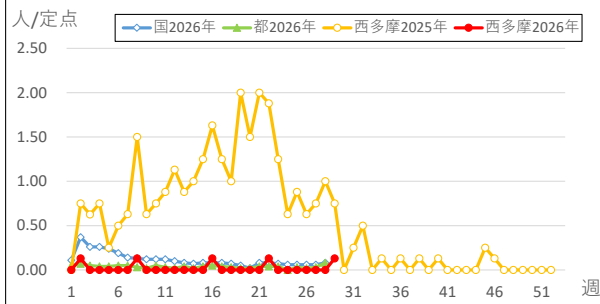
水痘



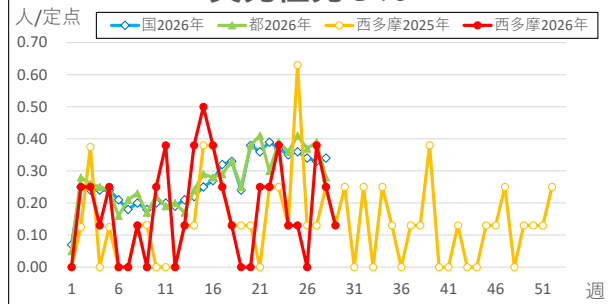
手足口病



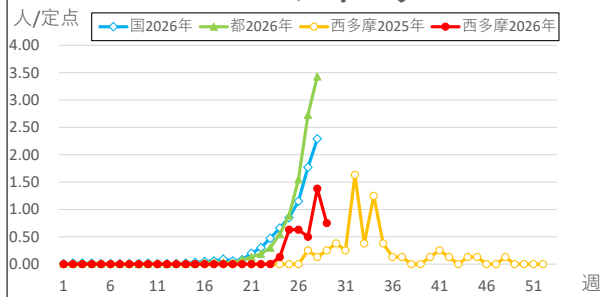
伝染性紅斑



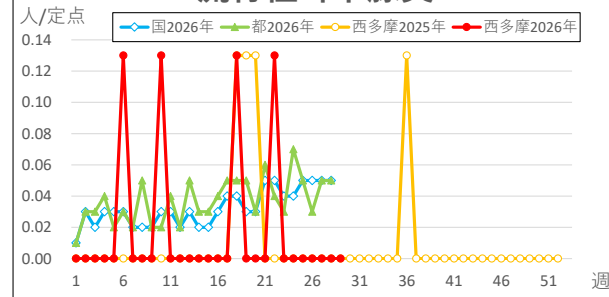
突発性発しん



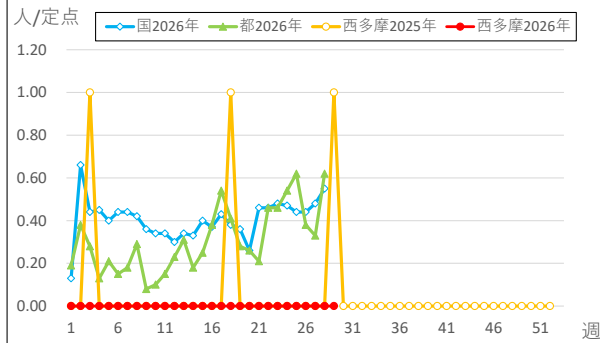
ヘルパンギーナ



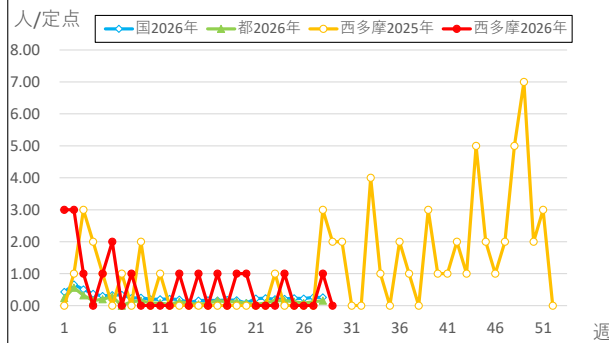
流行性耳下腺炎



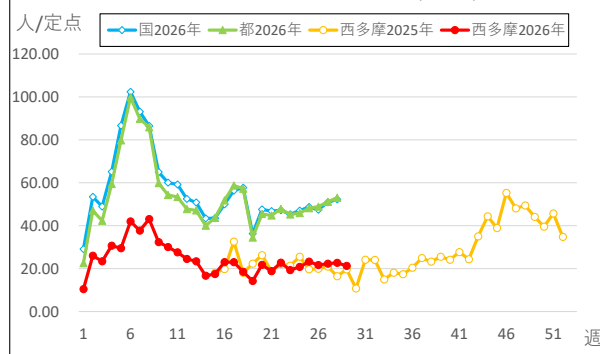
流行性角結膜炎



マイコプラズマ肺炎



急性呼吸器感染症（ARI）



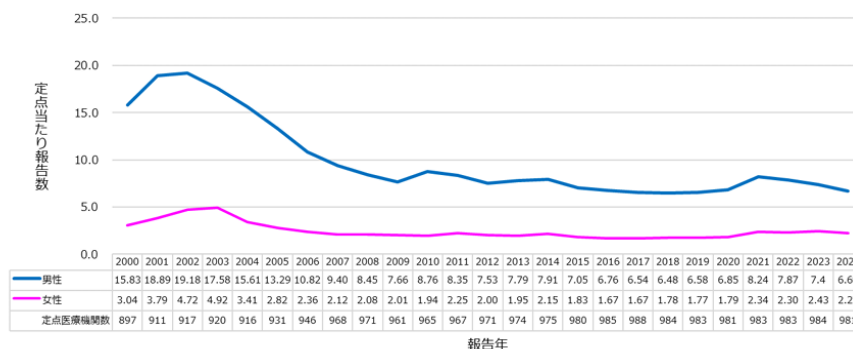
＊今週のトピックス＊

排尿時の痛みが出たら要注意!?!～淋菌～

性感染症として、有名な病原体には、今までご紹介したもの以外に様々なものがあります。中でも今回は淋菌についてお話しします。以下が近年の国内での定点当たりの報告数です。



図 1 感染症発生動向調査における淋菌感染症定点当たり報告数、2000～2024 年



国内では2002～2003年をピークに減少し、2016年以降はほぼ横ばいでした。2020年以降は男女共に再び増加しましたが、男性は2022年に減少へ転じています。

どのような病気ですか？

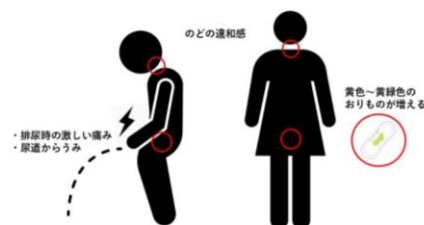
細菌の一種である淋菌に感染することによる疾患です。症状は男性と女性でやや異なります。

① 男性

尿道のかゆみや熱っぽさから始まり、粘液や黄色の膿みが出ます。排尿時の痛みがひどくなり、性器全体が腫れ上がるほどの激しい症状が出ることもあります。進行すると、尿道狭窄、精巣上体炎を起こし、不妊症の原因となることがあります。最近では、症状がないこともあります。

② 女性

男性よりも症状に気付きにくいです。症状がある場合は、緑黄色の濃いおりものや、尿道から膿みが出たり下腹部の痛みが出ることがあります。進行すると不正性器出血、子宮内膜炎、卵管炎を起こし、子宮外妊娠、不妊症の原因となることがあります。



どのように感染しますか？

淋菌は、主に性交や性交類似行為により、感染部位の粘膜との接触や分泌物との接触によりヒトからヒトに感染します。潜伏期は約2～7日です。これら以外にも手指やタオルを介しての感染が疑われる報告もあります。また、分娩時の産道感染で母子感染することがあります。

どのように治療・予防できますか？

抗菌薬が有効ですが、耐性の淋菌も増加しています。治療を自己中断すると、再発したり耐性菌が新たに発生するリスクがあるため、必ず医師の指示に従って治療しましょう。パートナーも検査を受け、感染していたら治療することが重要です。コンドーム使用による予防や、検査・医療機関への受診による早期発見及び早期治療が有効です。

東京都性感染症ナビ 淋菌感染症

<https://www.hokeniryu1.metro.tokyo.lg.jp/seikansensho/knowledge/gonococcal/index.html>

厚生労働省 淋菌感染症

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/gonorrhea.html

国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 応用疫学研究センター

淋菌感染症の発生動向、2024年

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idss/target-diseases/gonorrhea/2024/20260428Gonorrhea.pdf>

直近8週間の西多摩保健所管内定点医療機関報告数（定点当たり）

	22週	23週	24週	25週	26週	27週	28週	29週	1週目からの 累計
インフルエンザ	1 (0.07)	0 (0.00)	0 (0.00)	1 (0.07)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	1,720
新型コロナウイルス感染症	3 (0.21)	1 (0.07)	1 (0.07)	2 (0.14)	0 (0.00)	1 (0.07)	0 (0.00)	2 (0.14)	232
RSウイルス感染症	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	4
咽頭結膜熱	1 (0.17)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	1 (0.13)	1 (0.13)	0 (0.00)	10
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10 (1.25)	6 (0.75)	8 (1.00)	7 (0.88)	4 (0.50)	8 (1.00)	3 (0.38)	10 (1.25)	232
感染性胃腸炎	14 (1.75)	21 (2.63)	16 (2.00)	17 (2.13)	23 (2.88)	16 (2.00)	16 (2.00)	18 (2.25)	861
水痘（みずぼうそう）	1 (0.13)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	4 (0.50)	0 (0.00)	2 (0.25)	1 (0.13)	51
手足口病	9 (1.13)	9 (1.13)	27 (3.38)	27 (3.38)	37 (4.63)	55 (6.88)	54 (6.75)	43 (5.38)	272
伝染性紅斑	1 (0.13)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	1 (0.13)	5
突発性発しん	2 (0.25)	3 (0.38)	1 (0.13)	1 (0.13)	0 (0.00)	3 (0.38)	2 (0.25)	1 (0.13)	42
ヘルパンギーナ	0 (0.00)	0 (0.00)	1 (0.13)	5 (0.63)	5 (0.63)	4 (0.50)	11 (1.38)	6 (0.75)	32
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	1 (0.13)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	4
流行性角結膜炎	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0
マイコプラズマ肺炎	0 (0.00)	0 (0.00)	1 (1.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	1 (1.00)	0 (0.00)	18
急性呼吸器感染症（ARI）	319 (22.79)	270 (19.29)	291 (20.79)	326 (23.29)	303 (21.64)	312 (22.29)	318 (22.71)	298 (21.29)	9,867

○グラフは、5類定点把握対象疾患についての推移を表しています。グラフ縦軸の目盛は定点あたりの患者報告数です。
 ○管内定点医療機関数は、小児科定点8、内科定点6、眼科定点1、基幹定点1となっています。
 ○毎週の患者報告数は、管内の定点医療機関から毎週月曜日に報告を受け、週報として木曜日に発行いたします。
 ○データの出典元は、下記のとおりです。国及び都のデータは1週間遅れで掲載しております。
 〈出典〉東京都、西多摩保健所のデータ：東京都感染症情報センター <https://idsc.tnmiph.metro.tokyo.lg.jp/>
 国のデータ：国立健康危機管理研究機構（JIHS） <https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/index.html>